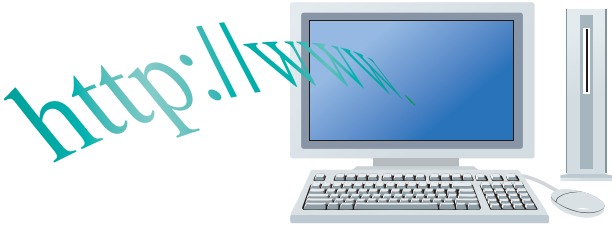
会社の沿革

昭和40年４月	前代表岩渕正則の個人営業として日立市大沼町に創業。 茨城大学を始め国の出先機関、団体、労働組合を主な得意先として活版印刷を始める。
昭和46年	茨城県印刷工業組合日立支部長に就任（同組合理事）。
昭和50年代	活版印刷からオフセット印刷へ徐々に移行していく。 社会保険事務所と取引開始。
昭和60年１月	日立市東多賀町へ工場を移転し、活版印刷の大幅な廃止を行う。
昭和61年	茨城県中小企業団体中央会会長賞、全印工連会長賞を受賞。 （協）日立印刷センター創立。同センターの専務理事に就任。
昭和64年	社会保険事務所の紹介により厚生団との取引を開始する。
平成元年４月	印刷営業技能審査に合格し、印刷営業士の資格を取得（現代表）
平成２年４月	最初のＤＴＰ化を行い。電子編集機やワープロを導入。 アナログ、デジタル両方に対応した印刷を行い始める。タイプライター、写植の廃止。
５月	茨城県印刷工業組合幹事に就任。
平成３年	デジタル化に伴い暗室や電子式タイプライターを完全廃止。
平成４年５月	茨城県印刷工業組合副理事長に就任。
平成９年４月	ワークステーションモトヤＡＸ―ＥＬを導入。 自社内でカラー製版開始。版下部門を電子編集機部門と名前を改める。
平成11年	大幅な機械の更新を行い。機械の近代化を図る。
平成12年	業務用ＰＣとウインドウズ版ＤＴＰソフト（アドビ社製）を購入。
平成13年6月	現代表の岩渕正美が茨城県営業士会会長に就任する。
平成18年３月	モトヤの出力センターの廃止に伴い。 業務用ＰＣとクリエイテブスウィート2プレミアム（アドビ）を購入。 ワークステーションからＰＣを使ったＤＴＰへ移行。
平成18年７月	前代表の死去に伴い岩渕正美が代表に就任。
平成21年３月	印刷会社より総合情報産業への業務転換を図り始める。
平成22年４月	総業情報産業への移行のため、設備の全面更新を図る。
平成22年５月	第一段階として電気工事を始める。
平成22年６月	総合情報産業への移行のため、業態の事なる３社による連携を計画する。
平成23年３月	東日本大震災発生。大きなダメージを被る。
平成26年４月	CS２をAdobe Creative Suite 6 Desigu & Web Premiumへ　パソコン及び周辺機器を更新
平成30年４月	当社ホームページ完成